

# 四日市大学とコラボ授業

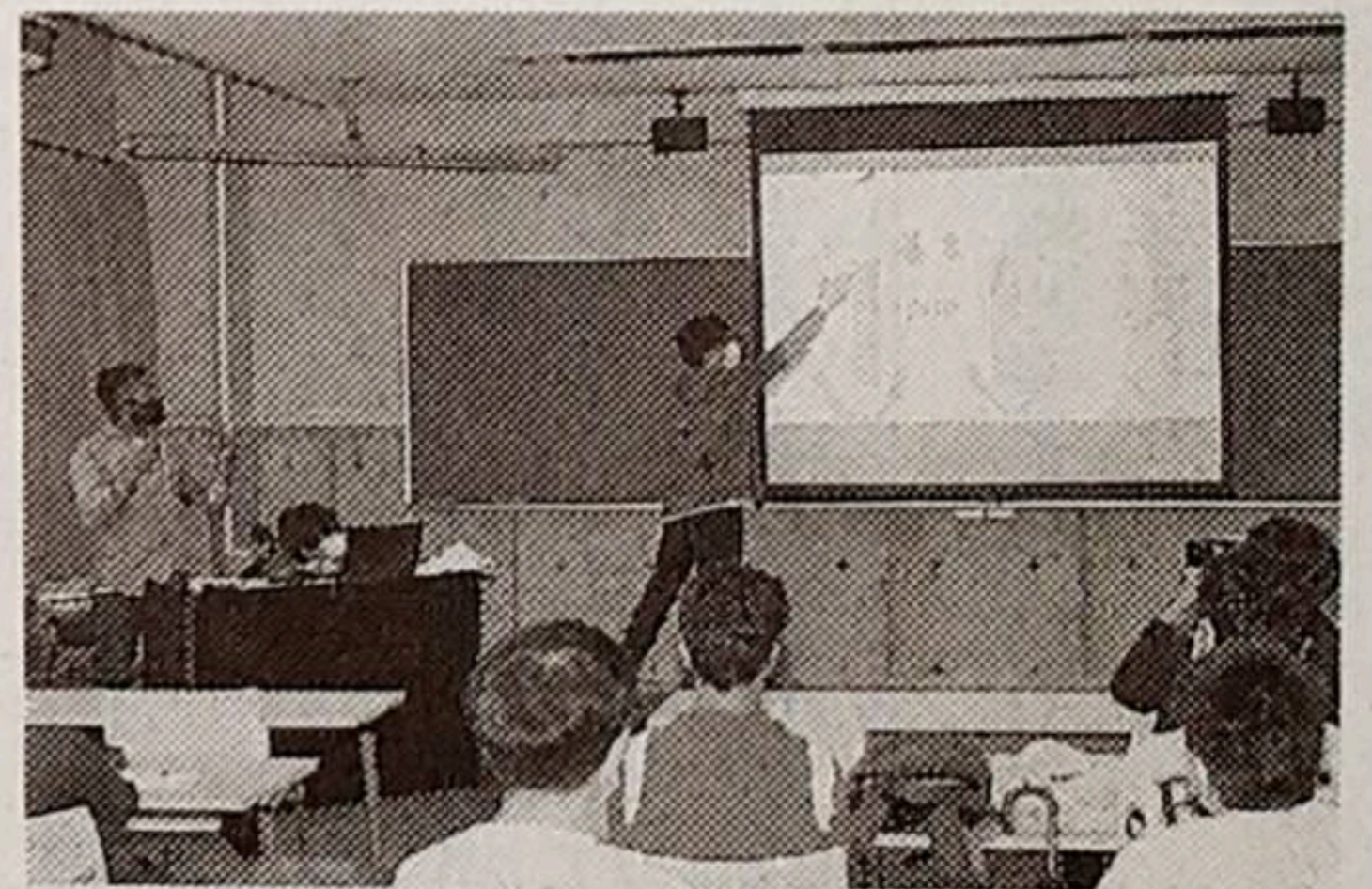
## 三重化学工業、グループワーク実施

【三重】保冷剤や業務用手袋などを製造する三重化学工業（本社松阪市大口町262の1、山川大輔社長）はこのほど、四日市大学（四日市市）とコラボレーション授業を行った。同大の岩崎祐子特任教授が担当する「ビジネススマネジメント」の講義の中で、同社社員も参加して新商品開発や地域貢献、海外戦略などをテーマにグループワークを

実施した。

コラボ授業は、5回にわたって開かれた。留学生5人を含む27人が受講し、学生は三重化学工業について調べた後、保冷剤づくりを体験。グループワークは5チームに分かれて行い、各チームに同社社員が入った。

最終日には、山川社長も参加して発表会が開かれた。新商品開発では、熱中症対策やスポーツ時の筋肉



新商品の提案などが行われた発表会

疲労回復、ランドセル用、スマートフォンを冷やすなど保冷剤の新商品のアイデアが出され、開発の背景やターゲット、具体的な販売方法などを発表した。

山川社長は「各チームともいい発表だった」と評価し、「対話の中から新しいアイデアが生まれてくる。多様な人と出会い、考えを聞き、自分と照らし合わせることによって気づきを得て欲しい」と強調していた。